

犬猫の飼い主の皆様へ

- 避妊・去勢手術のススメ -

北海道上川総合振興局

北海道では「動物の愛護及び管理に関する法律(動愛法)」に基づき「北海道動物愛護管理推進計画」を策定し、動物愛護の普及啓発等を行っています。

この計画では犬猫の適正な飼養のため、避妊・去勢措置を勧めています。

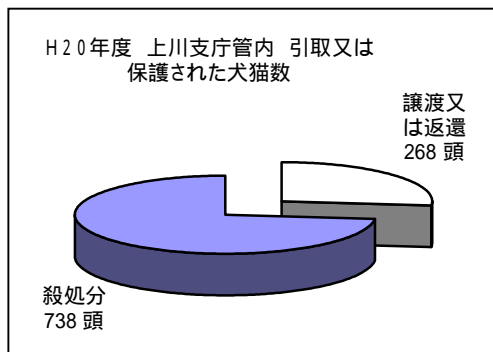
○なぜ犬猫の避妊・去勢手術が必要か

現在、全国的に犬猫が飼えなくなり保健所に引き取られる、又は遺棄されて保護される犬猫が後を絶たず、このうちの大多数が殺処分されています。

犬猫の遺棄は犯罪です！！

動愛法第44条3

愛護動物を遺棄した者は五十万円以下の罰金に処する。



1 犬の場合

メス犬は生後1年くらいで子供が産めるようになり、年2回発情します。妊娠期間は約2ヶ月で1回の出産で5～10頭の子犬を産みます。



メス犬の避妊手術のメリット

不妊手術をすることで望まない子犬が産まれないだけでなく、命に関わる病気の乳ガン、子宮蓄膿症などの予防になります。

周期的な性格の変化がなくなり精神が安定し飼いやすくなります。

生理は1ヶ月近く続くため、出血のわずらわしさから解放されます。



オス犬の去勢手術のメリット

去勢手術を行うことで、ストレスから解放され、よく見られるマーキングや鳴き声、他の犬とのケンカ等の行動も抑えられます。

前立腺肥大症、肛門周囲腺腫瘍、会陰ヘルニア等といった病気の予防にもなります。

2 猫の場合



メス猫は生後8ヶ月くらいで子供が産めるようになり、年に2回発情します。

妊娠期間は約2ヶ月で1回の出産で4～8頭の子猫を産みます。

但し、猫は他の動物に比べて非常に繁殖能力が高く、交尾排卵のため交尾をすると必ず妊娠し、どんどん増えていきます。



メス猫の避妊手術のメリット

望まない妊娠が避けられ、繁殖に関するストレスから解放され、穏やかに過ごすことができます。

性行為による猫白血病、猫エイズ感染症等に感染する機会も少なくなります。



オス猫の去勢手術のメリット

尿の臭いが軽減し、スプレー行動も殆どなくなるため家の中で快適に暮らすことができます。

メス猫や縄張りを求めて外に出たり、他の猫とのケンカも少なくなり、咬傷や性行為による猫白血病、猫エイズ感染症などや、交通事故に遭遇する危険性も少なくなります。



猫の室内飼育

猫は外に出さないとストレスがたまると考えている方がいますが、猫は本来、室内の縦方向の運動だけで十分飼育できます。

オス猫は発情したメス猫のフェロモンに敏感に反応して、興奮して外に出たいという自然の欲求がでてきます。

そのために、繁殖をさせる目的がない場合はメスオスとも避妊・去勢手術を適切な時期に受けさせていたほうがいいのです。

○ 避妊・去勢手術のデメリット

犬・猫とも必要なカロリー量が少なくなるため、手術前と同じ食餌量・運動量だと太りがちになりますが、食餌制限と適度の運動で肥満から解消されます。



○ 避妊・去勢手術の時期



犬・猫とも繁殖させる予定がなければ、メスは最初の発情前、オスは生後1年以内の適切な時期に行うのが効果的とされています。

但し、この時期を過ぎてからでも手術は出来ますので、犬猫を飼われている方は今からでも遅くはありません。

なお、詳細は最寄りの動物病院にお問い合わせください。



猫の餌やり

餌を与え続ければ猫はその場に居着き、排泄し、繁殖することになり更に不幸な猫を増やすこととなります。

糞尿等により地域の環境を悪化させ、地域住民からも猫を迷惑と感じる人が増え、結果的に多くの猫が殺処分されることとなります。

猫に餌をやるという優しい気持ちが、結果的には不幸な猫を増やしているのが現実なのです。

*不明の点がございましたら下記へご連絡ください。

上川総合振興局保健環境部環境生活課主査（動物管理）



〒079-8610 旭川市永山6条19丁目1

Tel (0166)46-5924

Fax (0166)46-5206